

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ふくろうサポート	代表者	落合 美智子	法人・事業所の特徴	自宅にいるような、近所の家に遊びに行くような家庭的な雰囲気です。楽しく過ごせる小さな集いの場所です。食事は三食手作りで提供しています。暖かいものは暖かいうちに召し上がって頂く事が出来ます。年に三回季節の催し（花まつり・献灯会・介護まつり）と合わせて東日本大震災応援バザーを開催し、地域の方々にも事業所の事を知って貰える機会を作っています。
事業所名	ふくろうの家	管理者	奥 知佳		
運営推進会議での評価 実施日		2017年 12月 22日			

出席者	市区町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	0人	1人	2人	5人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	常勤のスタッフ全員で、事業所評価に取り組んでいるので、この状況を次につなげて行く。	前回の改善点はなく、引き続き常勤のスタッフで評価することで改めて改善すべき事は再確認出来た。	今回も特に意見はなく、常勤での評価が出来ている。	今後も継続して常勤者が評価することで、改善すべき点が見出せると考える。
B. 事業所のしつらえ・環境	特に改善点はなかったが、清潔で居心地がいい空間になっているので、この状態を維持して行く。	前回の評価に改善点が特になく、継続して利用者が過ごしやすいよう清潔が保たれるよう心がけている。	事業所内の見学を年に数回設けてもらえると評価しやすいと思う。床暖房やエレベーターを設置することで利用者が過ごしやすい空間となっている。	推進会議の時など、事業所見学を行うことで色々なアドバイスを貰いより過ごしやすい環境作りが行えると思う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域とのかかわりは、運営推進会議のメンバー（民生委員、町内会）をきっかけとして交流して行く。	地域行事（ひなまつり・豆まき等）に参加、地域の方にイベント時の場所の提供、バザーを年に数回開催するなど、職員はもちろんのこと利用者も関わりを持っている。	小学校の職業体験の受け入れ、地域行事の参加などから事業所名が地域の人たちに知られた所になっている。	今後も地域との関わりを持ち、地域に必要とされる事業所であり続ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の散歩外出の機会が少ないので「おでかけ表」などをつくって、どなたでも外出出来る機会を作ることを検討したい。	おでかけ表の作成には至っていないが、利用者の買い物など地域の商店を利用したりし、地域との関わりがなくならないように心がけている。	地域行事に利用者と一緒に参加している。今年度も地域の会合などに出席している。	地域行事等に参加することで利用者が地域に根付いた暮らしが出来るよう支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見を事業所として改善計画として取り組んで行く。情報の共有については連絡ノート、申し送りノートに記入し、スタッフ全員が確認し、サイン確認月日を記入する。	申し送りノートを作成した。全職員が必ずサインする所までには至っていないので、今後の課題と考える。	情報の共有は申し送りノートでの確認は出来ていると思うが、サインの徹底が出来ていないので検討する。	運営推進会議に色々なスタッフが参加することで、申し送りノートのみの情報共有だけでなく、直接意見を聞ける機会を作りたい。申し送りノートのサインの徹底を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の年間防災訓練計画に掲載し、地域の防災訓練の予定も事業所の年間計画に表示するなどして相互交流する。	地域の応急救護訓練に参加したりしたが、事業所の訓練を告知していなかった為地域の方の参加が出来なかった。	事業所で行われている訓練の日程など情報の提供をして欲しいと思う。災害時は近所の商店等の連携は取れているので安心である。	事業所で行われる消防訓練などの日程を案内して様々な人に参加してもらえるようにしたい。地域で行われる訓練等に今後も参加する。